

平成24年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	ES細胞・iPS細胞臨床研究指針対策費		担当部局庁	医政局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度～		担当課室	研究開発振興課		課長:佐原康之		
会計区分	一般会計		施策名	IV-1-6 新医薬品・医療機器の創出等を促進するとともに、医薬品・医療機器産業の振興を図る				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	ヒト幹細胞を用いる臨床研究に関する指針 (平成22年厚生労働省告示第380号)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	ヒト幹細胞を用いる臨床研究(以下、「ヒト幹細胞臨床研究」という。)を実施する機関における研究の実施状況、海外における再生医療等に係る指針の整備状況等について調査を行い、調査結果を再生医療推進のための企画・立案に役立てることを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	ヒト幹細胞臨床研究を実施する全国の大学医学部、研究機関等における研究の実施状況、海外における再生医療等に係る指針の整備状況等について委託調査を行う。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	当初予算	16	16	14	14	14		
	補正予算	▲16	▲8					
	繰越し等							
	計	0	8	14	14	14		
	執行額		3	12				
執行率(%)			37.5%	85.7%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	実態を把握した機関数	成果実績	機関	-	103	確認中	-	
		達成度	%	-	103	-		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	調査票を送付した機関数	活動実績 (当初見込み)	機関	-	130 (130)	確認中 (130)	- ()	
単位当たりコスト	25,846(円/機関)		算出根拠	3,360,000円/130機関(調査票を送付した機関数)=25,846円/機関				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	医薬品等試験調査委託費	14	14					
	計	14	14					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	・再生医療の早期実用化が求められていることから優先度が高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	・全国のヒト幹細胞臨床研究の実施状況や海外の再生医療等に係る指針の整備状況を広く調査し、国として再生医療推進のための企画・立案に繋げるため必要なもの。
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	・入札差額等の影響により不用が生じている。
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者の選定には一般競争入札を実施することで競争性を確保している。 ・予算の執行は、全て厚生労働省で直接行っており、事業目的に基づき適切に実施している。 ・毎年見直しを行っており妥当である。 ・必要最低限の経費のみの予算計上としている。
	△	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・成果実績からみても実効性の高い手段と言える。 ・適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上している。 ・研究の実施状況の把握等は概ね目標通り実施している。 ・事業実績報告書等により、実績把握に努めているが、日本の再生医療推進に繋がるよう継続して事業を実施する必要がある。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>予算の執行は全て厚生労働省で直接執行しており、全ての支出先を把握している。 予算要求の方法について改善していく点がある場合には、的確に予算に反映してまいりたい。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	ES細胞・iPS細胞臨床研究指針対策費については、ヒト幹細胞臨床研究を実施する機関における研究の実施状況等について調査を行うための事業であり、本事業の必要性や執行の観点からの評価も概ね妥当であることから、引き続き効率的な執行に努めるべき。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
現状通り	ES細胞・iPS細胞臨床研究指針対策費については、引き続き効率的な執行に努める。		
補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	240	平成23年行政事業レビュー	0214

※平成23年度実績を記入

厚生労働省
12百万円

(ES細胞やiSP細胞を使用した臨床研究を検討している施設に対し実地調査を行う)



【一般競争入札】

A.株式会社三菱化学テクニサーチ
12百万円

(ES細胞やiSP細胞を使用した臨床研究を検討している施設に対し実地調査を行う)

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.株式会社三菱化学テクノロジー			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	研究員に係る人件費	6			
旅費	研究員に係る旅費	5			
その他	消耗品費等	1			
計		12	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロッ
 クごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社三菱化学テクノロジー	ES細胞・iPS細胞を用いた臨床研究実施計画についての審査業務	12	2	85